令和　　年　　月　　日

　　三重県知事　あて

 　　　　　　　　　　三重県○○市○○町○番地

　　　　　　 ○○株式会社

　　　　　　 代表取締役　○○　○○

地球温暖化対策計画書の提出について

 三重県地球温暖化対策推進条例第８条第１項の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

１　提出資料 地球温暖化対策計画書等 １部 または 電子媒体 １部

　２　地球温暖化対策担当部署 　　部　　課

担当者名

電話番号

Fax番号

電子メールアドレス

**様式１**

**○○株式会社三重工場地球温暖化対策計画書**

**１**　**事業の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 事業者名
 | ： |
| 1. 工場（事業所）名
 | ： |
| 1. 所在地
 | ： |
| 1. エネルギー管理指定工場等指定番号
 |
|  | ： |
| 1. 業種
 | ：　　　　　　　（資料４日本標準産業分類による） |
| 1. 従業員数
2. ホームページURL
 | ：　　　人： |

**２**　**計画の期間**

２０２３年４月１日から２０２６年３月３１日までの期間とする。

**３**　**計画の基本的な方針**

**４**　**温室効果ガスの排出の状況及び排出の抑制に係る目標**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 基準年度（現況）（2022）年度 | 目標年度（2025）年度 | 対基準年度比（％） |
| 温室効果ガス排出量　A | ton-CO2 | ton-CO2 |  |
| 原単位排出量　A/B | ton-CO2/○ | ton-CO2/○ |  |
|  | 原単位に用いた指標　B（単位） | （　　） | （　　） |  |
| 原単位に用いた指標の設定方法 | 生産量、売上、入込客数など |

※１　目標を立てるにあたって、排出原単位により温室効果ガスの排出量の管理を行う場合には、「原単位排出量　A/B」欄も記載してください。この場合、条例第８条第３項による公表も原単位排出量で行います。（原単位排出量での公表を希望する場合には、必ず記載してください。記載がない場合には、総排出量で公表します。）

※２　「原単位に用いた指標　B」欄には、原単位に用いた分母の数値及び単位を記載してください。

※３　「原単位に用いた指標の設定方法」欄には、原単位に用いた指標の種類及び考え方を記載してください。

※４　条例第８条第３項による公表は原則温室効果ガス排出量Aで行いますが、理由がある場合は原単位排出量A/Bでの公表ができます。その場合、以下にチェックを入れ、具体的な理由を記載してください。

□　温室効果ガス排出量の公表不可

　　　理由：

※５　条例第８条第３項による公表を温室効果ガス排出量Aおよび原単位排出量A/Bの両方で行う場合は以下にチェックを入れてください。

□　公表を温室効果ガス排出量Aおよび原単位排出量A/Bの両方で行う

**５**　**エネルギーの使用の状況等（現況）**

**（１）エネルギーの使用の状況**

別紙「エネルギーの使用の状況」のとおり

**（２）鉱業・化学製品の生産・使用量　※該当がある場合**

1. **生産量**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 製　品 | 生産量（t） | 製　品 | 生産量（t） |
| セメント | t | カーボンブラック | t |
| 生石灰 | t | スチレン | t |
| アンモニア | t | メタノール | t |
| エチレン | t | 1.2-ジクロロエタン＊ | t |
| 硝酸 | t | コークス | t |
| アジピン酸 | t |  |  |

（＊別名：二塩化エタン、二塩化エチレン、エチレンジクロライド）

　**②使用量**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 製　品 | 石灰石使用量（t） | 石灰石純度（％） |  | 製　品 | 使用量（t） |
| セメント製造 | t | ％ |  | ドロマイト | t |
| 生石灰製造 | t | ％ |  |  |  |

**６**　**温室効果ガスの排出の抑制に係る措置**

別紙「（計画用）地球温暖化対策チェックリスト」のとおり

**７**　**その他の地球温暖化防止に係る取組**

　　**（別紙「地球温暖化対策チェックリスト」以外のもの）**